

## 細江カトリック教会だより

6・7月号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15 ☎083-222-2294 📠083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

## み心

6月はカトリック教会の伝統によって主イエスのみ心の月と呼ばれています。今年は主イエスのみ心の祭日が6月11日(金)に当たりました。この6月を迎えて、み心を礼拝しながら、改めて神の愛を思い起こす月となりました。

主イエスのみ心は全人類に対する神の愛の象徴として主イエスの心臓を表し、その信心は主イエスのみ心に表される神の愛を思い起こします。その無限の愛のしるしであるみ心をたたえるものとして中世に始まったそうです。

み心の信心は、教会において基礎となるものであり、キリスト教の中心と言えるものです。だから、主イエスのみ心の限らない愛に対して、できる限りの愛をもってこたえるというみ心の信心の目的をしっかりともちながら特にみ心の月を過ごすようにと呼びかけられています。

この間、たまたま中井淳神父さまの記事が私の目に留まりました。それは、6月20日の「聖書と典礼」の中で載せられたみ言葉の分かち合いの文書でした。私たちの人生、私たちの共同体及び私たちの教会は舟のように大きな湖を渡っていきます。度々この舟は嵐にあって沈みそうになっていました。神がおられなくて、神が私たちを見捨ててしまったよう

な気がします。実は、揺れる艦でも安らぐ主イエスが私たちとともにいてくださいます。時が満ちて、主イエスは風を叱り、湖に「静まれ」と言いながら、私たちを助けてくださいます。これは主イエスの憐れみ深いみ心です。

さて、主イエスのみ心の祭日に当たった時、愛について分かち合う場合が多いと思います。私も愛について話したいと思いますが、愛が現れる別の表現で分かち合いたいと思います。

それは約束の実現ということです。約束を守るという行為は愛なのです。約束を果たす行為も愛なのです。皆さんは約束があったでしょうか。考えずにすぐ答えはあったと思います。確かに、日々生活の中で、私たちは約束がたくさんあります。根本的な約束は私たちと神との約束です。それは誓願であり、結婚の誓いであり、個人の誓いや約束でしょう。それらを守って、実現するならば、私たちの愛は大きくなると思います。

今年のみ心の祭日に当たって、読まれた福音書はヨハネ 19:31-37 でした。「彼らは、自分たちの突き刺した者を見る」と書いてあります。「槍で刺し貫かれた脇腹」の内に神の限らない救いのみ旨が輝いています。だから、この脇腹を仰ぎ見ること(み心の信心)を通して、神の愛や神が約束を果たして下さったことを見いだすことができます。主イエスを通して、神は新しい契約を私たちと結んでくださり、その約束を実現してください。



「なぜ怖がるのか、まだ信じないのか」、まだみ心を信じていないのかという主イエスの声が時々聞こえています。憐れみ深い心を持っておられる神に信頼することが足りないからです。それゆえ、中井淳神父さまが書いた通り、「本当に私たちが信頼して主導権を御父に委ねるならば、私たちは主イエスが艦の方で安心していたように、安らぎと喜びに留まっていられるのでしょうか。」

ディン 神父

## 祝 初聖体 6月6日(日)

### キリストの聖体の主日

「これはわたしの体である。

これはわたしの血である」

(マルコ14・22～)



コロナ禍で、参加できるのは初聖体を受ける子どもたちのご家族のみとなり、少し寂しい式でした。

この嬉しい日に、無事に初聖体を終えてこれからはご聖体をいただける喜びを共に味わうことが出来るご家族と私たちも共有したいと思います。おめでとうございます！



\*ご聖体を受ける子どもたちは少し緊張して。



### \*初聖体を受けた子どもたち

- ・マキリミアノ・コルベ 井石 士湧くん
- ・アシジのフランシスコ 井石 有洲くん
- ・マリア カスタニューダ マリア彩代さん
- ・イグナチオ 系永或叶くん

### 子どもたちの感想

・初聖体をいただいたことで、神さまと一緒にいられること、友達を大事にしたり、困っている人を助けたりをぜったいすると決めた!! (士湧)

・初せい体が、ぶじ終わってよかったです。

おべんきょうもがんばりました。

林先生、ありがとうございます。(有洲)

・今日の朝、とても楽しみな日でもあったし、とてもきんちょうする日と思いながら、朝をすごしていました。

「うまくできるかな」「ごせたいはどんな味なんだろう」と思いました。教会に入った時からきんちょうしたけど、みんながいたのであんしんしました。

とうとうごせたいをいただく時間になりました。はつせたいをいっしょにする3人が終わった後にごせたいをいただきました。

朝から気になっていた味は、お母さんは「赤ちゃんおせんべいみたいな味だよ」と言ってたけれど、わたしにとってはおもちみたいな味でした。

わたしは主イエス・キリスト様が自分の目の前にいるように感じましたし、心の中にもいる気がしました。(マリア彩代)

・感想は、最初は緊張したけど、パンを食べたら緊張がなくなってすっきりしました。ありがとうございました。(或叶)

### お母さんからのメッセージ

長女の初聖体の秘跡を受ける事ができ、心から嬉しく思います。かなり緊張していた娘も、ご聖体を拝領し、喜びと自信に満ちておりました。

ご自身もご多忙の中、時間を割いてご指導いただいた林先生、ミサ非公開期間中にもかかわらず、初聖体の儀式を執り行ってくださった作道・ディン両神父、準備に携わってくださった教会関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

昨年7月に帰天されたシスター細川のご指導の下、娘は或叶君と一昨年の晩秋頃から初聖体に向けて勉強を開始。数か月後に新型コロナウイルス発生で勉強会の中止とシスターの離関もあり、約半年の空白期間がありました。多くの方々のお支えのお陰で、ようやくこの日を迎えられた有難みを感じております。満身創痍の体で懸命にご教授くださったシスター細川にも、心からの感謝を込めて祈りたいと思います。困難な状況下でも真摯に学んだ子ども達が、神さまのお恵みの中でより一層成長できますように。

カスタニューダ靖代

### 細江教会へ来られている

#### ベトナムの青年の紹介

皆さんこんにちは。

私はチャン クアン ラムと申します。

21歳です。趣味は寝ることです。ベトナムのタイグエンから来ました。日本で3年間住んでいます。



今、九州ビジネス専門学校で勉強しています。2019年2月から細江教会の事を知り、ミサに参加することができてとても嬉しいです。毎週の日曜日友達と一緒に教会に行きます。教会の皆は誰でも優しくて嬉しいです。一週間中、アルバイトと勉強でとても大変ですが、教会に行ってお皆さんに会えて元気になります。生活の中で、何か問題があったら教会の人からいつも助けてもらいます。本当にありがとうございます。

これからもよろしくお願ひします。

### 地区だより II

#### コロナ禍で祈る

林 妙子

昨年から1年半、コロナウイルスの蔓延で、多くの行動が妨げられて、家に居て聖書を読み、祈りの日々が続く中で、たくさんの気づきがありました。

毎週ミサに与り、ミサ後は皆で元気だったと近況を話し、楽しい時間を過ごすことが週の初めでしたが、今はそれが出来ない、ミサに与ることが私の生活に欠かせないことであったこと。家で聖書を読み、その日の箇所を理解できない所は、マリアの様に心に留めて、祈りをする日々です。その日々が続く中で、聖書で言われていたことが、ふと！理解できる時があります。

母を妹と介護していますが、時々介護の仕方がくいちがいが出て、イライラすることがあります。なぜ私の言っていることが理解できないの？お互いの主張が先になります。その時、ふと！み言葉が……。自分にも悪いところがないのか？自分が変わることで、相手が変わってくることを感じた。この先いつまでこの状態が続くか、分からないけれど神の愛に立ち止まることで、光が見えるような気がする、祈りによって。



## お別れと新しい旅立ち

三位一体の聖体宣教女会の Sr, マリア内藤初子さまが2021年5月16日主の昇天の祭日の朝、帰天されました。



下関の地より東京の本部へお戻りになられ久しく、内藤シスターは2020年水戸修道院に着任後、胃の手術を受けられ修道院での療養生活をされていましたが、修道院の姉妹の皆さまに見守られながら神さまの下へ帰られました。その最期の時の前、お見舞い修道会の皆さまに「ありがとう」と全てを神さまのみ手に委ねて感謝を述べておられたとお聞きしました。

今年の初春頃にシスターからお電話をいただいた時は元気なお声だったのですが、「私は早く神さまのところへ行きたい」とおっしゃっていたことが、今になって思い出されます。あの頃から具合が悪かったのでしょうか。もう少しお話ししておけばと残念でなりません。

50年あまりの修道生活とお伺いしておりましたが、その中の数年間は細江教会で病人訪問や信徒(子どもたち)育成に尽力してくださいました。また、香部屋のことも熱心に取り組んでくださり、典礼の中での係の役割の大切さを教えていただきました。

幾つかの思い出を胸に、内藤シスターと三位一体の共同体の皆さまのために祈りを捧げたいと思います。

また、いつかお会いする日まで。

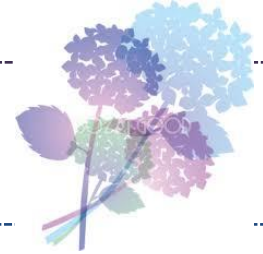
近藤

## † 帰天 (2021年1月~6月)

- 1/2 ステファ 山中 好行 (86歳)
- 2/15 ルドビコ 浜上 敏夫 (80歳)
- 3/8 ペトロ 中元 雅之助 (86歳)
- 3/21 メチルジス 前田 京子 (88歳)
- 3/27 ミカエル 大水 紀 (68歳)
- 4/2 マリア 山田 シツ子 (90歳)
- 5/12 マリア 川上 美代子 (84歳)
- 5/26 パウロ 深堀 徹 (90歳)
- 6/29 ペトロ 牧山 伊助 (81歳)

## お祈りください！

\*これからは帰天された方々を記載させていただきます。



## 編集後記

・梅雨の季節、皆さまはお変わりございませんか？これからは暑さ倍増し、体力が落ちる方々も…水分お忘れなく。

・65歳以上のコロナワクチンの接種が始まりました。オリンピックで人々の動きが活発になりますが、感染症の拡大にならないければ良いのですが。

・世界のアジアの特にミャンマーの人々が平和な生活が取り戻せますように祈りましょう。

・コロナ禍で、生活が困窮している外国人留学生や就労者への物資等の支援を考えています。

(細江教会のデイン神父、総務、労働教育センター中井神父までご連絡ください。)

広報委員会一同

